

## 海外フィールドワークA

授業コード (科目ナンバリング コード)	35B01-001 (FA-GNL-2028)	科目名	海外フィールドワークA			担当者	宮原 佳昭、中 裕 史
開講期間	Q2(集中)	単位数	4	学年	2	指定	選必
履修対象学科							
他学科履修	不可						
他の科目との関連							

### 【副題】

中国語を使って台湾現地に溶け込む

### 【授業概要】

この授業は講義形式および実習形式で行われる。台湾の輔仁大学で約3週間にわたって中国語を学ぶとともに、台湾の歴史や文化、現代事情についてのフィールドワークを実施する。現地での実習にあたり、事前および事後にも授業を行って台湾についての予備知識を教授するとともに、フィールドワークの成果報告も行って教育効果の定着を促す。

### 【到達目標】

- ① 中国語を使って中国語を教授する環境のもとで、実践的な中国語の運用能力を身につけている。
- ② フィールドワークを通じて、台湾の歴史・文化・現代事情についての重要な事件・人名・地名を把握できている。

### 【授業計画】

- ① 複数回の説明会に出席し、履修登録を行うとともに、各種の必要書類は期日までに必ず提出する。
- ② 6月に8回実施する事前授業では、現地事情について学ぶと同時に、中国語によるプレゼンテーションを行うための周到な準備をする。
- ③ 6月末から7月下旬まで輔仁大学で中国語を学び、輔仁大学の学生と交流するとともに、大学の内外に出て行ってフィールドワークも実施する。
- ④ 帰国後の7月下旬に計2回行う事後授業では、中国語による成果報告を行う。

### 【授業時間外の学習（準備学習等）】

下記の書籍などを読んで、台湾の歴史、文化や現代事情について基礎的な理解を蓄えておく。

- ・赤松美和子・若松大祐編『台湾を知るための60章』（明石書店、2016年）
- ・野嶋剛『台湾とは何か』（ちくま新書、2016年）
- ・水野俊平『台湾の若者を知りたい』（岩波ジュニア新書、2018年）

### 【評価方法】

事前授業での授業参加度10%、輔仁大学で実施する期末試験の成績50%、事後授業での中国語による成果報告10%、期末レポート30%として評価する。

### 【テキスト／参考文献】

事前授業ではプリントを適宜配布する。台湾現地では輔仁大学が準備する教科書を使用する。

### 【その他】

輔仁大学での学習費用、渡航費や滞在費用は履修生の自己負担とする。

### 【添付ファイル1】

### 【添付ファイル2】

### 【添付ファイル3】

### 【リンク】